

K A W A K A M I D A M 2008

川上ダム通信

6月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

一日も早いダム本体着工を！ 「淀川水系河川整備計画案」が公表されました

6月20日（金）、国土交通省近畿地方整備局は、川上ダムの建設を明記した「淀川水系河川整備計画案」を公表しました。淀川水系河川整備計画案（以下、計画案）は、近畿地方整備局が平成13年2月より関係住民、関係自治体の長、学識経験者から幅広く意見を聞いたうえで検討を積み重ねてきており、今回ようやく公表に至ったものです。計画案の公表を受け伊賀市長からは、「待ちに待った淀川水系河川整備計画案ができたことは大変喜ばしい。」とのコメントが出されています。

今後は、関係府県知事から計画案に対する意見が出された後に淀川水系河川整備計画が策定されることとなります。

当建設所としましては、速やかに淀川水系河川整備計画が策定されるよう事業者としての説明責任を果たし、計画策定後はこれまで関係者の皆様をお待たせしてきた分を取り返すべく早期完成に向けてまい進していく所存です。

【調査設計課長 岩本浩】



～川上ダム対策委員会協議会代表 古川 喜道氏～

古川さんはダム建設に伴う水没移転者であり、昭和50年1月から現在まで川上地区ダム対策委員会の委員長を務められておられます。

今般、「淀川水系河川整備計画案」が出されたことについて、「国交省と有識者会議の淀川水系流域委員会の審議が7年間もかかり遅すぎる。一日も早く、ダム本体工事を進めて欲しい。」と話されました。

地域を学ぶ学習会

6月17日（火）に、伊賀市阿保にある学校法人愛農学園農業高等学校常務理事の志賀親則先生を川上ダム建設所にお招きし、「環境に優しい有機農業の取り組み」という演題で講演会を行いました。愛農学園は有機農業の取り組みが評価され、2005年朝日新聞社より「明日への環境賞」、また、2006年には三重県より「環境プロジェクト賞」を受賞しています。

志賀先生は、生徒達が環境に配慮した有機農業だけではなく、農業を通じて自分たちが「活かされている」ということを学んでいることなど、エピソードを交えながら私たちに分かりやすく丁寧に話されました。周辺環境へ大きな負荷を与えると思われるダム建設の仕事を行っている私たち機構職員にとっても大変有意義な講演となりました。

【総務課 森隆博】



講演される志賀親則先生

初めての横坑、オオサンショウウオに興味津々！



横坑見学の様子



オオサンショウウオ保護池にて

6月28日(土)に、「まなびあおやま子ども講座」の皆様(大人4名、子ども5名)が地域学習の一環で、川上ダム建設所の施設見学を行いました。まず、事務所でダムについての一般的な知識を勉強した後、横坑(ダムを造る場所の地盤調査のために掘ったトンネル)とオオサンショウウオ保護池の見学に出発しました。横坑内では、ハンマーで実際に岩盤を叩き、岩の硬さを体感してもらったところ、響く金属音に「硬い岩だ」といった声が多く聞かれました。また、子どもたちは、「洞窟探検」の記念にと横坑内の岩のかけらを持ち帰っていました。保護池では、オオサンショウウオのこどもやおとなの様子を観察しました。普段では、あまり見ることのできないオオサンショウウオに感動し、興味深く観察していたことがとても印象的でした。今後も、ダム建設予定地周辺の自然や環境の状態など、体験学習を通じて知っていただく機会を設けたいと思っております。

【調査設計課 竹之内健太】

※この見学会の様子は、産経新聞、中日新聞2紙で報道されました。

身近な川に目を向けて

～名張川クリーン大作戦2008～



木炭を敷き詰める参加者

6月1日(日)、名張川クリーン大作戦2008実行委員会主催により、名張川の清掃活動が行われました。今回で開催は5回目を数え、今年は名張22会場で約6000人が集まり、川上ダム建設所からも職員20名が参加しました。河川敷でペットボトルやプラスチック容器等のゴミを拾い集めた他、水質浄化の目的で生活排水の流入口に、木炭を敷き詰めました。川上ダム建設所でも、近くを流れる木津川で月1回の河川清掃活動を行っております。私たちも、河川の環境維持活動には、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

【調査設計課 竹之内健太】

～名張市内河川で花菖蒲いかだを設置～

名張市の市民活動グループである「川の会・名張」の皆様が名張市内河川の城下川で「花菖蒲いかだ」を浮かべておられます。これは、市民の方々が川に目を向け、環境保全についての理解を深めていただくよう、同会が毎年行っている活動です。

6月8日(日)に川上ダム建設所からも職員が参加して、花菖蒲いかだ作りが行われ、菖蒲の株分けからの組み立て～設置までを行い、無事に設置することができました。

花菖蒲いかだは約2週間設置され、色とりどりの花を咲かせ、市民の皆様にも憩いと安らぎを与えてくれました。

【工務課長 北牧正之】



完成した花菖蒲いかだと「川の会・名張」の皆様

副理事長と川上ダム職員との意見交換会開催される

～「自由な話し合いの場」で“知恵”が生まれ、会社を変える～

6月19日（木）に太田副理事長が事業推進に向け、様々な問題と日々戦っている職員への激励とオフサイトミーティングを行うため、川上ダム建設所に来所しました。意見交換会は、副理事長の巧みな手法により、リラックスした雰囲気の中で本音で話をすることができました。「自由な話し合いの場」から新たな“知恵”が生まれることを知りました。

【副所長 青山太洋】

※オフサイトミーティング：日常の職場（サイト）を離れて（オフ）気楽にまじめな話し合い（ミーティング）をすること。



学習会の様子

ほたるの光に誘われて

6月14日（土）、川上ダムの上流にある博要地区市民センター周辺にて、博要地区ほたる祭り実行委員会の主催による、ほたる祭りが催されました。会場には、約100名が集まり、水田や水路の周りを舞うほたるを観賞しました。水田が広がる静かな山里で、時を忘れて、のんびりとほたるの美しい光を楽しむことができました。

【総務課 箕輪律子】



ほたる祭りの様子

尼ヶ岳（伊賀富士）の山頂を目指しませんか

尼ヶ岳は、川上ダムが建設される前深瀬川の源である、標高958mの雄峯で、その姿が富士山に似ていることから、伊賀富士とも呼ばれています。尼ヶ岳の山頂には、東海自然歩道（東京の明治の森高尾国定公園と大阪の明治の森箕面国定公園を結ぶ延長約1,700kmにおよぶ歩道）が横切っていて、休日のハイキングには最適と考えられます。山頂に至る道のり（登山口からゆっくり歩いて1.5～2時間程度）は決して楽ではありませんが、山頂からの眺望はすばらしいものです。是非、一度山頂を目指してみてください。はいかがでしょう。

【調査設計課 廣瀬真由】



尼ヶ岳山頂からの展望（伊賀市方面を望む）

ダンプトラックのより一層の走行マナーアップについて



連絡先：0595-52-1661
(川上ダム建設所工事課)

川上ダム建設所では、今以上に工事関係車両の運転マナーの向上を図るため、ダンプトラックに車両証と垂れ幕を付けることとしました。垂れ幕を付けることで、車両証が見やすくなり、川上ダム建設事業で使用する車両か否かも一目で分かるようになっております。

今後も、ダンプトラック及び工事関係車両の走行には、細心の注意を払うよう努めて参りますが、運転マナーなど、お気付きの点がございましたら、左記の連絡先まで車両番号もしくは垂れ幕番号とともに、ご連絡を頂きますようお願い致します。地域の皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【工務課 柴田健一】

第12回

ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈千方の墓（五輪塔）〉
天照寺にある千方の墓は、後年、千方の子孫が祀ったといわれています。准后記や伊水温故等の書物に「藤原千方將軍」の首塚と記載された伝説があります。

※千方の墓（五輪塔）への行き方
近鉄青山町駅から「霧生」行きバス30分
「霧生上出バス停」下車徒歩5分



EVENT

第23回 青山夏まつり

- 盆踊りや花火の打ち上げなどがあります。
- 日時／7月19日（土）16:00～
- 場所：伊賀市青山支所周辺
近鉄青山町駅から徒歩10分
- 問い合わせ／伊賀市商工会青山支所
TEL：0595-52-0438

第8回 河川環境フェスティバル

- アユのつかみ捕りや環境パネルの展示などがあります。
- 日時／8月2日（土）9:00～
- 場所／伊賀市青山支所北側木津川河川敷（荒天の場合：北部グランド）
近鉄青山町駅から徒歩5～6分
- 問い合わせ／伊賀市青山支所住民課内 第8回河川環境フェスティバル実行委員会事務局
TEL：0595-52-3227

編集後記

七夕が近くなり、事務所近くを流れる木津川の橋の上には、七夕の竹飾りが見られます。願い事が書かれた短冊や笹が風にゆれる姿は美しいものです。ぜひ見に行かれてはいかがでしょうか。

- 【広報誌発行事務局】
- 編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）
 - デスク 上村 信幸（総務課長）
 - 〃 柳生 光彦（工務課長）
 - 通信記者 磯野 正典（環境課）
 - 〃 竹之内健太（調査設計課）
 - 〃 箕輪 律子（総務課）



☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所は ISO14001 を取得し、環境保全を推進しています。◇